

令和7年度 第3学年 授業改善推進プラン

台東区立蔵前小学校

1. 児童の学習状況

国語	○音読したり自分の思いや考えを積極的に伝えたりすることができる児童が多い。 ○読書の時間では、集中して読むことができる。 △書くことにおいて、段落を付けたり、文章構成を考えて書いたりすることに課題がある。 △読むことにおいて、文章の内容の中心を選んでまとめる力が不十分である。
算数	○与えられた課題に対して、自分の考えを図やテープ図に表して書ける児童が多い。 ○定規を使って丁寧に作図をかくことができる。 △単位の変換を理解しておらず、正しく変換できない。(m、cm、mmやL、mL、時間、分、秒など) △四則計算、特にかけ算が身に付いていなかったり、くり下がり指を使ったりする児童がいる。
社会	○地図記号について理解している児童が多い。 ○地域の様子について、総合的な学習の時間と連携したので意欲的に調べることができた。 △地図帳の活用や読み取りが難しい。(土地の利用・高さなど) △資料の読み取りが苦手で、粘り強く取り組むことが困難な児童がいる。
理科	○学習への意欲が高い児童が多く、知識・理解について多くの児童が定着している。 ○意欲的に自然の事象・現象の関わろうとする態度が見られる。 △実験結果から思考力を活かし、学習課題を設定する力をつけていきたい。 △植物や生物の学習環境が整わない単元があり、知識の定着が十分ではない。

2. 各教科の具体的な取組

	特に育成を目指す能力	取組
国語	- 書いて表現するために必要な語句を身に付け、適切に文章を書く力 - 物語文や説明的な文章を読んで、内容を理解する力	- 語彙力を高めるために、どの教科でも国語辞典を活用できるようにする。 - 文章の読解において、内容の中心などに線を引き、要旨を捉える手立てにする。
算数	- 時間や長さ等の単位変換を正しく活用できる力 - 四則計算を速く正確に解くことができる力	- 日常生活の中で時間の計算や水のかさや重さなどを体験させ、具体的に学習できるようにする。 - さわやかタイム等で、習熟プリントや学習アプリケーション等を活用し、反復学習できるようにする。
社会	- 資料から必要な情報を読み取る力 - 社会科の学習を通して、地域社会の仕組みや関係性などに興味関心をもち調べる力	- 課題提示した後、資料からどのようなことが読み取れるのか予想できるような、調べる活動を増やす。 - 地域の施設に見学に行ったり保護者にインタビューをしたりして、社会的事象に興味関心をもち実生活に生かそうとする態度を育てる。
理科	- 身近な自然現象に興味をもち、観察対象を比較できる力 - 実験道具を活用し、基本的な知識及び技能を身に付ける	- 観察の際に、似ているところや違うところに気付くように発問を行い、児童の発見したことを共有する。 - 観察や実験をするときに使う道具の操作方法を視覚的に示し、安全に気を付けて操作できるようにする。

